

平戸市議会だより

とかいせん



▲第28回かわっぱ祭り かわっぱ相撲

6月補正予算決まる!

第44号

平成27年8月1日発行
6月定例会・7月臨時会報告

contents

- 6月定例会・7月臨時会で審議された案件と結果 2
- 6月定例会 ここに注目 3
- 委員会報告!
- 総務常任委員会 4
- 産業建設常任委員会 5
- 文教厚生常任委員会 6

市政を問う! 10名の議員が一般質問に立つ

- 大久保堅太議員、神田 全記議員 7
- 近藤 芳人議員、綾香 良一議員 8
- 山田 能新議員、辻 賢治議員 9
- 山崎 一洋議員、川上 茂次議員 10
- 平石 博徳議員、松尾 実議員 11
- トピックス! 12
- 平戸のチカラ
- ひびき

平戸のチカラ

特定非営利活動法人 度島地区まちづくり運営協議会編

このコーナーでは平戸を元気にするため各分野で活躍されている皆さんをご紹介します。
●活性化と住みやすいまちづくり!! ~市民と行政のパイプ役とは~



今回、度島地区まちづくり運営協議会の活動について取材をさせていただきました。

特定非営利活動法人度島地区まちづくり運営協議会(以下、協議会)は、度島地区の活性化と島民が今以上に安全に安心して暮らせる住みやすい町となるようさまざまな事業を展開しています。

地域住民の一体感と団結力が強まり、協議会発足のきっかけとなった「おかえりなさいイルミネーション」は、昨年で4回目となり、毎年多くの帰省客を幻想的な光で迎え、大好評を博しています。

また、平成26年度には、島内に公共の交通手段がないという課題を解決するため、社会福祉協議会より寄贈を受けた福祉車両を活用し、コミュニティバスとして運行を開始しています。

このコミュニティバス運行にあたり、協議会では、全島民を対象としたアンケート調査を実施。利用者ニーズを把握した上で、住民意見交換会を開催し、料金や時刻表の設定、バス停の設置まで全て自分たちで行なっております。

また、7月には、度島中学校の生徒を対象に、度島地区のまちづくりに興味を持ってもらうため、「度島まちづくり塾」を開催し、子どもにも積極的にまちづくりに関わってもらう取り組みを進めています。

協議会の皆さんは、「ま



ちづくりは、補助金をあてにするのでは持続できない。今後は、地域ニーズに応じた事業を行うことはもちろん、地域外から地域にお金が落ちる事業に取り組みすることも重要になってくる。地域にお金が落ち、経営が成り立ち、事業を継続すること、それが後継者を残すことにもつながると思う」と今後の目標を力強く話されました。

これからも度島町の発展のため奮闘する皆さんの活躍を期待します。

〔取材：議会広報特別委員会 度島地区まちづくり運営協議会編〕

子ども議会が開催されます!

日時：平成27年8月20日(木)
午後2時10分～午後4時20分(予定)

場所：市役所本庁4階議場

市内全中学校から各2名が代表者として一般質問します。今回は、昨年実施した子ども議会での質問に対する再質問の形式で行います。

一般の方も傍聴できます。どうぞ、ご期待ください。

議会傍聴へどうぞ!

傍聴を希望される方は、当日、本庁舎4階の傍聴席入口に「傍聴受付簿」がありますので、住所、氏名、年齢を記入の上、ご入場ください。

※9月定例会の日程については、決まり次第ホームページ等にてお知らせします。

ひびき

自民・公明によって、「安保法案」が衆院で強行採決されました。地元新聞は「違憲立法」という国民の懸念に耳を貸さず強行された政府、与党の暴挙に強く抗議する。「数の力でねじ伏せる。これが民主主義か」「国民不在の姿勢あらわに」と書きました。世論調査はどうでしょう。産経新聞では「安保法案は違憲」が58%、「合憲」が22%。日経新聞では「違憲」が56%、「合憲」が22%。朝日新聞では「違憲」が50%、「合憲」が17%。政府の姿勢にも厳しい声があります。どの調査でも、「十分に説明していない」との回答が8割前後、「十分に説明」は1割台です。自衛隊が戦争にまき込まれる危険についても、「高くなる」という回答が7割前後となり、国民の多くが、日本が「海外で戦争する国」に変わるのでは、と危惧しています。地元新聞は「安倍首相自身が『十分』と認めた国民の理解より、『対米公約の今国会での成立』を優先させた」「参院審議で説明に努め、それでも反対が強ければ、今国会成立にこだわるべきではない」とも書きました。延長国会は9月未まで続きます。(山崎一洋委員長)